

# 中井だより

中井やまゆり園

## 地域との“連携”をめざして

地域支援課 地域連携班 班長 有泉 淳

“地域連携班”が令和4年4月に新設されました。聞き慣れない名称ですが、昨年度まで地域発達障害支援班のスタッフが担ってきた短期利用の受入れや、近隣事業所との情報交換、実際に利用者の見学や体験のお手伝いなどに加え、今回の秦野拠点事業や近隣事業所の体験、さらには通所などを増やすことを目的にしています。

“拠点”に限ってお話しをすると、8月から試行的に数名の利用者と一緒に、秦野駅そばの公園（おおがみ公園）や駅前の水無川河畔公園などに出かけていく機会を作りました。10月からは非常勤の新たなスタッフを迎え、秦野市栄町の物件を借りました。11月1日からは、いよいよ本格的に秦野拠点を利用した活動が始まりました。今のところは、秋寮から3名と星寮から2名、海寮から各2名ほどの参加ですが、ゆくゆくはより多くの方に体験をしていただけたらと考えています。

拠点の活動としては、駅のそば“おおがみ公園”の雑草や落葉を片付ける作業、河原の公園の花壇整備、健康管理を兼ねて駅周辺（神社やショッピングモールなど）の散策を行っています。

また、連携班は拠点だけでなく園の外に出て日中作業をしている事業所に通ったり、グループホームの宿泊を体験したりしながら、より太い地域とのつながりを築いていきたいと考えています。

これからもよろしくお願いします。

## 日中活動アップデート

地域支援課 活動支援班 班長 檜山 浩

節分が終わり、いよいよ春の到来を待ちわびる頃となりましたが、皆様お変わりございませんでしょうか。活動支援班長の檜山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年4月より、日中活動の充実を、中井やまゆり園の重点取組課題のひとつとして、「地域社会と繋がる」をキーコンセプトに、これまでの新型コロナウイルス対応による各寮別体制を見直し、日中活動の再編を行ってまいりました。6月当初は、講堂・作業棟・地域サービス棟をフル活用して、日中活動を開始しましたが、猛暑の影響により空調が故障し、講堂での活動が困難になったこと等から、8月には作業棟・地域サービス棟での日中活動に、再々編をすることとなりました。また、支援改善アドバイザーの助言も受け、受注作業の導入・職任分離・過剰な構造化の見直し・利用者の皆さんと職員の協働を念頭に、活動内容のアップデートも重ねてまいりました。

現在では、かつてない規模で、受注作業（手帳解体・ボールペン組立・フィルターパッキング等）を行っており、職員も利用者の皆さんの作業能力の高さに驚かされることもあります。また、日中活動時間の増加やグループダイナミクスの向上など、よい変化も見られております。

夏と冬には、新型コロナウイルスによるクラスター発生により、感染防止を重視した体制に縮小することもありましたが、なるべく日中活動が継続できるように工夫してまいりました。今後も利用者の皆さんにとって、「日中活動の充実とは何か？」を考えながら、アップデートを続けていけたらと思います。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。